

豊地区

「自らも健康で楽しく
地域福祉活動」

豊地区は、昔から福井市南の玄関として発展し、現在ショッピングシティ・ベル等の商業施設をはじめ、福井赤十字病院などの医療施設も点在し、大変安心して暮らしやすい地区となっております。一方で、市街化区域の中では、高齢化率が33%と最も高い上、核家族化が進み、一段とひとり暮らし高齢者（65歳以上）が増加しているのも当地区の現状です。

さて、豊地区社協ではデイホームと見守りを兼ねた食事サービスを中心とした活動を行っています。特にデイホームにおいては、昨年から地元の人クラブの協力も得ながら開催しています。地域支え合い推進員の熱意もあり、会場が満席になるほど、大変喜ばれております。また、豊小学校や市社協の協力もあり、今年の目玉として「子ども福祉委員」を立ち上げました。以前から続いている豊小学校4年生を対象にした福祉学習において、大型スクリーンで我々の活動を紹介し、子ども福祉委員への参加希望の挙手を求めたところ、10人弱が手を挙げてくれました。最終的には4人の子どもたちが福祉委員とし活動してくれてい

ます。活動に興味を持ってくれたことを大変ありがたく思いました。益々、福祉委員の助けが必要となっていく中で刺激になればと考えております。夏から秋にかけて4地区（花堂、月見、みのり、西木田）での合同研修や敬老会とデイホームの郊外研修などの行事も目白押しとなりますが、地域の高齢者が元気に喜んでいただけるよう自らも健康で楽しく地域福祉活動を進めていきたいと思っております。

豊地区社会福祉協議会
会長 山田 耕一



豊小学校での活動

宮ノ下地区

「住んで良かった宮ノ下」
「住みたくなるまち宮ノ下」

宮ノ下地区は、国道416号線天管生橋の開通とともに、福井医療大学や福井総合病院が新設されるなど、急激な発展を遂げています。また、「花でつるつるいっぱい大咲戦」として、コスモスを中心としたお花でいっぱいの地域づくりが展開されています。特に宮ノ下コスモス広苑では、10月にはピンクの絨毯を敷き詰めたような素晴らしい風景が広がります。

宮ノ下地区社協では、自治会型デイホーム「コスモスサロン」を地区の4か所で実施しています。公民館でのデイホームでは、卓球バレーも楽しんでおり、そこに参加されている方で、年4回、試合にも出場するなど、目標をもつていきいきと活動されています。

また、ひとり暮らしの方へのお弁当配布や敬老会、ふれあい福祉祭り、シルバーそば打ち体験会なども開催しています。多種多様な事業を展開することで、みんなが顔見知りの地域を目指し、大きな災害時でも不安なく過ごせることを目標としています。

宮ノ下地区社会福祉協議会
会長 小西 安一



デイホームでの様子